

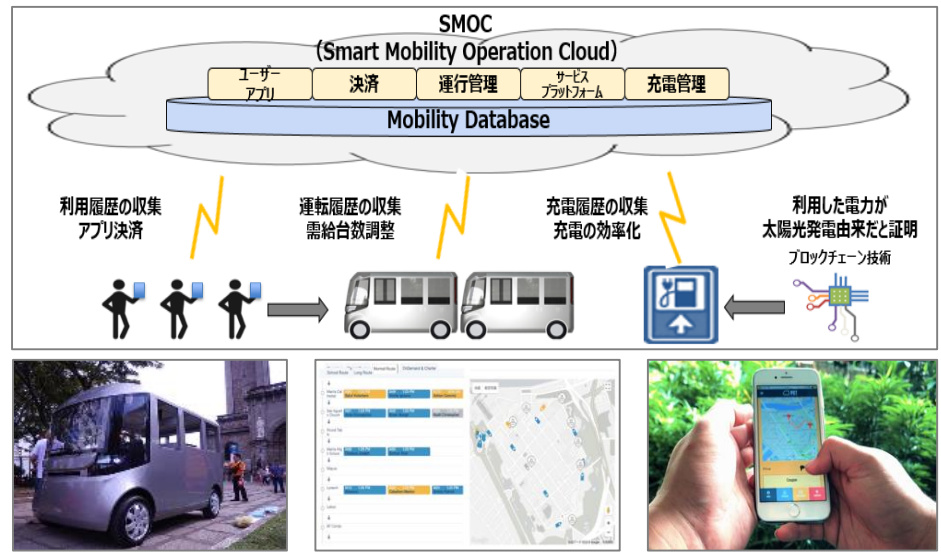
フィリピン公共交通における配車最適化による渋滞改善と再生可能エネルギー由来電力の活用による低炭素化実証

事業実施団体： Zenmov株式会社
株式会社電力シェアリング

リノベーション・実証の概要

フィリピン共和国のメトロマニラ近郊を舞台として、渋滞解消と、交通機関によるCO2排出量の削減に貢献するため、3年間で65台規模のEVを運用し、配車最適化システムと再生可能エネルギー由来電力の効果について実証する。
主な導入設備・技術等は下記の通り；

- Mobility as a System**
 渋滞改善に向けた効率的な輸送サービスを運行する上で必要なシステムをパッケージ化(運行管理・充電管理・決済等)し、ワン・システム(SMOC)として提供する。
- 配送するクルマにはCO2排出しないEVを使用**
 環境に優しいクルマを走行させる。
- ブロックチェーン技術による再エネ由来の電力の引き当て**
 EVへの充電に再エネ由来の電力を引き当てるためのブロックチェーン技術の実証を行う。



対象とする国・地域の概要



メトロマニラ近郊：
 マニラ市を中核とするフィリピンの政治・経済・文化等の中心地。

 交通渋滞による大気汚染および健康被害が社会課題となっており、CO2排出量の増大にもつながっている。

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み
 STEP1: SMOC と再エネシステムの動作を現地で確認する。
 STEP2: メトロマニラ近郊にて、EV15台程度で運用をスモールスタートすると共に、課題抽出を行う。
 STEP3: 抽出された課題対応を実施し、EVを65台程度まで増加させて運行範囲の拡大を目指すと共に、運用の標準化を行う。

普及の見込み
 本事業で培ったノウハウ元に、特定の街中だけにとどまらず、街と街を結ぶ交通サービスを確立・発展し、乗客や街への提供価値向上を図る。

地図データ©2020 Google